

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472603149	事業の開始年月日	平成17年12月1日	
		指定年月日	平成17年12月1日	
法人名	日本アメニティライフ協会			
事業所名	花物語さがみ			
所在地	(2 5 2 - 0 3 2 7) 神奈川県相模原市南区磯部 1 5 6 - 1			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成22年10月25日	評価結果 市町村受理日		

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

相模川のそばに建ち、自然に恵まれた環境にあります。日々の散歩では、四季の移り変わりを、感じる事が出来ます。ホ-ムの裏には、家庭菜園を作り、草取りや収穫を楽しんでいただいております。安全で穏やかな生活を過ごして頂けますよう、お手伝いさせていただきます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成22年11月10日	評価機関 評価決定日	平成23年4月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【立地・環境】

このホームは、JR相模線下溝駅より徒歩10分の、田畑や里山に囲まれた閑静な住宅地に位置する。相模川が近くを流れ、遠くに丹沢連峰を望む景色は絵画のようである。ホームの菜園では地域の方の協力を受け、野菜を栽培しており、利用者が収穫した野菜が食卓に上る。

「大風上げ」や「お月見下さいな」と呼ばれる伝統行事が盛んな地域で、利用者も見物したり、参加して楽しんでいる。

【衛生・医療体制の整備】

協力医療機関の往診・訪問看護・緊急時の受け入れ体制が整備され、総合的健康管理が行われている。往診は内科が隔週、歯科と訪問看護が毎週である。玄関前に手指消毒薬を常備して、感染症の予防に努めている。

【自由な生活】

玄関、ユニット扉ともに日中は施錠せず開放している。1階は鈴の音、2階はチャイムを聞き分けて、職員は連携して利用者の動静を見守っている。外に出る人には職員が後ろからついて行き、周囲を散策して帰ってくる。安全で圧迫感のない生活を楽しんでいる。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語さがみ
ユニット名	大地

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設以来、五つの四文字熟語で介護に向かう姿勢を示している。地域密着を踏まえた理念ではないが、日常生活においては地域の方との連携は、常に大切と考えている。	「一人ひとりに真心をもって笑顔で寄り添う」という、介護にあたる心構えを謳った理念を事務室に掲示している。開設時に職員が話し合い作成した。職員は入職時に説明を受け、スタッフ会で確認して支援に取り組んでいる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には、出来る限り参加させて頂いている。(盆踊り、お祭り、大凧上げ、消防訓練、お月見等)	自治会に加入し、自治会館や道路の清掃に参加する。地区の盆踊り、神社例大祭、大凧上げ、お月見などで地域の人々と交流している。地区の防災訓練には職員と利用者が参加している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、認知症についてお話し、ホームのことを、お話しして頂くようお願いしている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者とお茶をご一緒していただき、ホームへの理解をお願いし、非常時の協力を、お願いしている。	去年は1回開催し、今年度は4回開催予定で、すでに2回実施済みである。参加メンバーは自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族である。自治会長から連合会に事業所の状況が報告され、地域に周知されて理解が広まった。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	書類の提出など、必要に応じてお聞きしたり、協力頂き、有り難く思っている。	市担当課に事故、運営推進会議、消防訓練の報告書を提出、空室状況を報告し近況を説明している。市のケアマネジャー会議、県央グループホーム協議会で情報交換や相互研修をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は、玄関の鍵を掛けなくて、庭の散歩を楽しんでいただいている。</p>	<p>朝から夕方まで玄関もユニット入口も開放している。職員は常に利用者の所在を把握している。外に出る人には職員が後ろからついて行く。安全で抑圧感のない生活を楽しんでいる。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>防止マニュアルを、スタッフルームにおいて、読んでいただくようにスタッフ会で話している。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要に応じて、行っていく。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご入居・ご退居のさいは、出来るだけわかりやすくお話をしなければと考えている。又質問を頂き、お解かりいただけるよう説明をすることを、こころがけている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ケアプランをお渡しする際に、ご要望をお聞きし、そのさいにお聞きした内容は、スタッフにも知らせて、日頃のケアに生かしている。</p>	<p>家族会は年1回のバーベキューの後に開催している。参加者からは「回数をふやしてほしい」との要望がある。家族からの要望に応じてユニット入口に勤務職員の名札をかけることとした。</p>	<p>現在の家族会を基に、家族同士の情報交換の機会をサポートしていくことが望まれる。</p>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会、面談ほか必要に応じて、話のできる機会を作るよう心掛けている。	毎月のスタッフ会や年1回の個人面談のほか、随時職員の話をしている。昼食時の介助方法について、職員の意見を取り上げ、反映したケースがある。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社内の月一回の会議に参加し、ホームの現状報告を行っている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ヘルパー2級取得支援制度を利用し、資格をとっていただけるよう、すすめている。昨年度は、2名が受講し、資格を取得している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	GH協議会を通じ、情報交換を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご利用者・ご家族より、出来るだけ多くの情報をいただき、入居後の生活に生かせるよう、スタッフ全員で情報を共有する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	質問や不安な点については、丁寧な対応を心掛けている。入居後は、慣れるまで、多くの面会をお願いしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者・ご家族にとって、なにを大切に必要としているかを、大切にしていきたいと考えている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事はして頂くを基本に、調理等家事への参加をお願いしている。行事などは、一緒に楽しむ事。それには、スタッフが楽しいと思うことが大事と考えている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際、日頃の様子をお伝えし、ご家族との会話により、信頼を築けるように対応している。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご家族・知人と過ごす時間を大切にとかんがえる。いつでも面会にいらしていただける環境作りを心掛けている。	街の美容院へ行く際には家族が同行する。親戚の方や近所の昔なじみの方が訪ねて来ると、お茶を接待し歓待する。馴染みの場所や人々とのつながりを継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ひとりひとりに気を配り、感情の変化に注意し、対応できるよう、申し送りなどにより情報を共有する。席の配置にも気を配り、穏やかにお過ごしいただけるよう支援する。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も、ご家族が遊びにいらして下さったことがあり、これからも、そのような関係を大切にしていきたいと考えている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者にとって、今一番良い過ごし方を、ご家族と共に考え、このホームでの過ごしに反映できるよう、支援している。	日常生活の中で思いや意向を把握するようにしている。意思の疎通がむずかしい方には二者択一で聞いたり、仕草や表情から汲み取っている。把握した内容はミーティングで話し合い共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、ご利用者・ご家族からの情報により、アセスメントを作成し、入居後の生活支援に活かしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者おひとりお一人の状態を把握し、必要としている介助の違いを理解し、支援する。日々の変化の情報を共有する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のスタッフ会でカンファレンスを行い、多くの意見を出し合い、介護計画に反映させている。お会いできないご家族には、手紙をつけて送り、ご意見をいただけるよう対応している。</p>	<p>毎月のカンファレンスでモニタリングし、状態に変化がある方は受診記録も参考にして、介護計画を作成している。通常は4か月で、入退院後はその都度、見直しをしている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の記録には、食事・水分量・服薬・排泄など基本的情報のほか、日々の変化についても記録し、申し送りで、情報の共有を行っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>相談があった場合は、地域包括・居宅へ繋げる。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事に参加することにより、昔を思い出し、楽しいひとときを過ごしていただく。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>湘南厚木病院により、往診・訪問看護・緊急時の受入の総合的健康管理を行っている。一部のご利用者については、ご家族対応により受診して頂いている。</p>	<p>利用前のかかりつけ医を受診する3名の方は、家族が通院介助をしている。その他の方は月2回、協力医の往診を受けている。訪問看護が週1回、歯科の往診も週1回ある。他の診療科は家族が付添い受診している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護のときに、伝えたいことや聞きたいことを、バイタルチェック表に記入しておき、看護師に伝える。体調の変化があるときは、連絡し指示をいただけるので、安心できる。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>湘南厚木病院へ入院したさいは、往診医より状態を伺い、ご家族を含め相談をしている。又、お見舞いに伺い、お会いしておくことも大事なことと考えている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご入居の際、指針を説明し、同意を頂いている。</p>	<p>重度化の対応指針、看取りに関する指針等を入居時に説明し、本人、家族の同意を得ている。まだ事例はないが状況に応じて関係者で話し合いをし、職員の研修も進めていく方針である。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時マニュアルをつくり、記録ファイルにはさみ、いつでも読めるようにしている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の災害避難訓練に参加し、なじみの関係を築く。また、運営推進会議を通し、協力をお願いする。</p>	<p>避難訓練は年2回定期的を実施しており、夜間想定訓練も行っている、うち1回は消防署の立会いがある。スプリンクラーは来年度の設置が決定している。昨年度の目標である非常用食料・備品は、3日分の備蓄を達成済みである。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入るときは、断わってから入る。敬語を使うなど、基本的なことは、スタッフ会等で話し、確認している。	職員には入職時やスタッフ会で「礼儀、作法、敬語、接遇」の研修を行って徹底している。人格を損ねることのないよう、言葉かけや態度には十分注意を払っている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	わかりやすい言葉掛けをするようにしている。選んで頂く時は、選択肢を少なくして、選びやすいように工夫している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールについては、食事とお茶の時間以外は、決まっていない。天気・その日の状態に応じて、買い物・散歩・レクなどを楽しんでいただく。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に、理美容に来て頂き、カットや毛染めを、希望により、楽しんで頂く。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で収穫した野菜であることをお話ししながら調理し召し上がって頂く。テーブルを拭いて頂いたり、食器の片付けをお願いするなど、お手伝いしていただく。	献立は利用者と相談し、一緒に食材を買いに行く。テーブル拭きや下膳はできる方が参加している。職員は食事介助を優先し、一緒に食べるかどうかは個人の判断に任せている。誕生日にはケーキを手作りしており、利用者と職員と一緒に楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>その日の体調を考え、お粥・刻みなど、召し上がりやすい形態を選び、用意する。使用した食材を記録することで、食事のバランスに気を配る。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>夜間義歯を外してお休みなれないかたについては、昼食後に預かり、洗浄剤を使用するなど対応している。就寝前は、全員のかたの口腔ケアに気を配る。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>介助の必要な方、ご自分でトイレへ行くことの出来る方、それぞれを把握し、ひとりひとりに応じた援助を行っている。毎日の排泄の記録をつける。</p>	<p>排泄チェック表に記録し職員はそれぞれの排泄パターンを把握している。必要な方には声かけし、トイレ誘導し、自立に向けて支援している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄の記録により、水分量・食事量・などを参考にして、水分を摂っていたり、処方されている整腸剤の調節を行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>おひとりづつ、職員の介助により、入浴して頂く。入浴を拒否された時は、時間を置いて再度お誘いする。</p>	<p>利用者は1日おきに、週に2~3回入浴している。入浴したがない方にはタイミングを見て声かけし、4~5日に1回は入っている。季節には、ゆず湯やしょうぶ湯を楽しんでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	布団での就寝を習慣としていらした方には、ベッドを使用しないで、休んで頂くよう対応している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は、スタッフ全員が把握し、間違えの無い様チェックを行い、薬に変更のあった場合は、受診報告・申し送り等で、周知徹底をする。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月のカレンダー作りへの参加や、季節ごとの行事へ参加し、楽しんで頂く。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の散歩は、天候をみながら、歩行出来ない方には、車椅子を使用し、楽しんでいただいている。遠方へのご希望については、ご家族に相談させて頂いている。	天気の良い日は、車イスの方も近所へ散歩に出る。食材の買出しに利用者も同行する。季節には初詣、花見、いちご狩りや外食を兼ねたドライブを楽しんでいる。靖国神社参拝を希望する方がいたが、家族の協力もあり実現することができた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しい品や必要な品については、ご家族に相談し、買い物にご一緒したり、スタッフが買ってくるなどしている。立替えて、次月にお支払いいただく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	書くことの出来る方には、年賀状や暑中見舞いなど用意し、書いて頂き、ポストまでご一緒することもある。電話についても、希望があれば、掛けて頂いている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	歩行の妨げになる事の無い様、安全に気を配っている。月日を意識して頂けるよう、手作りのカレンダーを作り、掛けている。	玄関、廊下は広くゆったりしている。リビングは日当たりが良く明るい。利用者はソファや廊下のベンチでくつろいでいる。壁には手作りのカレンダー、習字などの作品を、コーナーには季節の生花を飾っている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の時は、大体決まったお席に座っていただくが、その他は、ソファや椅子、廊下のベンチに座っていただいたり、居室に戻るなど、自由に移動していただいている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテン（防災加工）、家具については、ご入居の時、ご利用者とご家族に、おこのみの物をお持ちいただいている。	居室にはたんす、テーブル・イス、テレビなど使い慣れた家具類を置いている。壁には習字やぬり絵などの作品や、家族の写真等を飾り心地よく過ごせる部屋作りをしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアー、バリアフリーとなっており、エレベーターを設置。フロアー・浴室・トイレには、手すりを設置、安全に移動していただく助けとなっている。		

事業所名	花物語さがみ
ユニット名	青空

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設以来、五つの四文字熟語で介護に向かう姿勢を示している。地域密着を踏まえた理念ではないが、日常生活においては地域の方との連携は、常に大切と考えている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には、出来る限り参加させて頂いている。(盆踊り、お祭り、大凧上げ、消防訓練、お月見等)		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、認知症についてお話し、ホームのことを、お話し頂くようお願いしている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者とお茶をご一緒していただき、ホームへの理解をお願いし、非常時の協力を、お願いしている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	書類の提出など、必要に応じてお聞きしたり、協力頂き、有り難く思っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は、玄関の鍵を掛けないで、庭の散策を楽しんでいただいている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>防止マニュアルを、スタッフルームにおいて、読んでいただくようにスタッフ会で話している。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要に応じて、行っていく。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご入居・ご退居のさいは、出来るだけわかりやすくお話をしなければと考えている。又質問を頂き、お解かりいただけるよう説明をすることを、こころがけている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ケアプランをお渡しする際に、ご要望をお聞きし、そのさいにお聞きした内容は、スタッフにも知らせ、日頃のケアに生かしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会、面談ほか必要に応じて、話のできる機会を作るよう心掛けている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社内の月一回の会議に参加し、ホームの現状報告を行っている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ヘルパー2級取得支援制度を利用し、資格をとっていただけるよう、すすめている。昨年度は、2名が受講し、資格を取得している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	GH協議会を通じ、情報交換を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご利用者・ご家族より、出来るだけ多くの情報をいただき、入居後の生活に生かせるよう、スタッフ全員で情報を共有する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>質問や不安な点については、丁寧な対応を心掛けている。入居後は、慣れるまで、多くの面会をお願いしている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご利用者・ご家族にとって、なにを大切で必要としているかを、大切にしていきたいと考えている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事はして頂くを基本に、調理等家事への参加をお願いしている。行事などは、一緒に楽しむ事。それには、スタッフが楽しいと思うことが大事と考えている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会の際、日頃の様子をお伝えし、ご家族との会話により、信頼を築けるように対応している。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族・知人と過ごす時間を大切にとかんがえる。いつでも面会にいらしていただける環境作りを心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ひとりひとりに気を配り、感情の変化に注意し、対応できるよう、申し送りなどにより情報を共有する。席の配置にも気を配り、穏やかにお過ごしただけよう支援する。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も、ご家族が遊びにいらして下さったことがあり、これからも、そのような関係を大切にしていきたいと考えている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者にとって、今一番良い過ごし方を、ご家族と共に考え、このホームでの過ごしに反映できるよう、支援している。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、ご利用者・ご家族からの情報により、アセスメントを作成し、入居後の生活支援に活かしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者おひとりお一人の状態を把握し、必要としている介助の違いを理解し、支援する。日々の変化の情報を共有する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のスタッフ会でカンファレンスを行い、多くの意見を出し合い、介護計画に反映させている。お会いできないご家族には、手紙をつけて送り、ご意見をいただけるよう対応している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の記録には、食事・水分量・服薬・排泄など基本的情報のほか、日々の変化についても記録し、申し送りで、情報の共有を行っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>相談があった場合は、地域包括・居宅へ繋げる。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事に参加することにより、昔を思い出し、楽しいひとときを過ごしていただく。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を楽しみながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>湘南厚木病院により、往診・訪問看護・緊急時の受入の総合的健康管理を行っている。一部のご利用者については、ご家族対応により受診して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護のときに、伝えたいことや聞きたいことを、バイタルチェック表に記入しておき、看護師に伝える。体調の変化があるときは、連絡し指示をいただけるので、安心できる。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>湘南厚木病院へ入院したさいは、往診医より状態を伺い、ご家族を含め相談をしている。又、お見舞いに伺い、お会いしておくことも大事なことを考えている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご入居の際、指針を説明し、同意を頂いている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時マニュアルをつくり、記録ファイルにはさみ、いつでも読めるようにしている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の災害非難訓練に参加し、なじみの関係を築く。また、運営推進会議を通し、協力をお願いする。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入るときは、断わってから入る。敬語を使うなど、基本的なことは、スタッフ会等で話し、確認している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	わかりやすい言葉掛けをするようにしている。選んで頂く時は、選択肢を少なくして、選びやすいように工夫している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールについては、食事とお茶の時間以外は、決まっていない。天気・その日の状態に応じて、買い物・散歩・レクなどを楽しんでいただく。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に、理美容に来て頂き、カットや毛染めを、希望により、楽しんで頂く。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で収穫した野菜であることをお話ししながら調理し召し上がって頂く。テーブルを拭いて頂いたり、食器の片付けをお願いするなど、お手伝いしていただく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>その日の体調を考え、お粥・刻みなど、召し上がりやすい形態を選び、用意する。使用した食材を記録することで、食事のバランスに気を配る。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>夜間義歯を外してお休みにならないかたについては、昼食後に預かり、洗浄剤を使用するなど対応している。就寝前は、全員のかたの口腔ケアに気を配る。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>介助の必要な方、ご自分でトイレへ行くことの出来る方、それぞれを把握し、ひとりひとりに応じた援助を行っている。毎日の排泄の記録をつける。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄の記録により、水分量・食事量・などを参考にして、水分を摂っていただいたり、処方されている整腸剤の調節を行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>おひとりずつ、職員の介助により、入浴して頂く。入浴を拒否された時は、時間を置いて再度お誘いする。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>布団での就寝を習慣としていらした方には、ベッドを使用しないで、休んで頂くよう対応している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬は、スタッフ全員が把握し、間違いの無い様チェックを行い、薬に変更のあった場合は、受診報告・申し送り等で、周知徹底をする。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎月のカレンダー作りへの参加や、季節ごとの行事へ参加し、楽しんで頂く。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日々の散歩は、天候をみながら、歩行出来ない方には、車椅子を使用し、楽しんでいただいている。遠方へのご希望については、ご家族に相談させて頂いている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>欲しい品や必要な品については、ご家族に相談し、買い物にご一緒したり、スタッフが買ってくるなどしている。立替えて、次月にお支払いいただく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>書くことの出切る方には、年賀状や暑中見舞いなど用意し、書いて頂き、ポストまで一緒することもある。電話についても、希望があれば、掛けて頂いている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>歩行の妨げになる事の無い様、安全に気を配っている。月日を意識して頂けるよう、手作りのカレンダーを作り、掛けている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い通りに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事の時は、大体決まったお席に座っていただくが、その他は、ソファや椅子、廊下のベンチに座っていただいたり、居室に戻るなど、自由に移動していただいている。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>カーテン（防災加工）、家具については、ご入居の時、ご利用者とご家族に、おこのみの物をお持ちいただいている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>全フロアー、バリアフリーとなっており、エレベーターを設置。フロアー・浴室・トイレには、手すりを設置、安全に移動していただく助けとなっている。</p>		

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語まみ

作成日 平成23年5月

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	10	年に1回開催をして いる家族会において、 出席頂ける方が少く 又、現在代表の方の 選出が出来ていない。	9月家族会を開催し、 出来るだけ多くの御家 族の参加を頂けるよう お願いをし、代表の 選出をする。	8月より準備を行い、 8月末にお知らせを 送付する。	半年
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。